

# 採用試験倍率低下、講師不足の深刻化

## 文科大臣「再びあこがれの職業に」?

### 業務の削減、負担軽減の改革こそ必要

#### 教員採用倍率2.7倍 講師確保も難しく

文科省調査で2020年度の全国の「小学校教員採用倍率が2.7倍となっており、公表されました。

さらに、2倍未満が10県にのぼり、教員への希望者が減少しているとされています。

枚方市でも小学校の任期付き講師の応募が定員に足りず、さらに17名の募集を行う事態になっています。

このことから、市教委関係者などから、「教員確保、人材確保が課題」と少人数学級・教員定数拡充に慎重な態度をとる傾向も出てきています。

文科大臣は「教師を再びあこがれの職業に」したいとして、検討会議による『令和の日本型学校教育』を担う教師の人材確保・質向上プラン」を取りまとめ、2月2日に発表しています。その内容は免許制度の検討と、教員養成・研修の在り方の見直しを柱としています。

しかし、現場で働くほとんどの教員は、業務の多さ、責任の大きさ、長時間勤務こそ根本的な問題であると考えています。

#### 変わらない長時間勤務、困難な業務・責任

文科省の2019年の調査

では全国で1か月以上の病休、病欠休職者は18000人に上り、増加を続けています。そのうち精神疾患によるものは53%に上ります。

時間外手当が支給されない一方、「働き方改革」が実感できず、無限定に業務や課題への対応が求められ、個人としての当たり前の生活時間が奪われる実態を見逃さずことはできません。

綿密な計画が求められる教科指導、個別の配慮が必要な特別支援、総合学習、道徳、英語教育、ICT教育、安全対策、感染対策、難しい保護者対応・・・

時間外の手当てもなく、これほどまでに困難で広範な業務や責任が求められることに、現場で働く

正規、講師への応募に二の足を踏み、身体もメンタルも傷つく中で病休にならざるを得ない人が増加しているのは、不可避であると言えませんが、

#### 市教委として、さらに大胆な見直しを

市教委は昨年度末に、令和2年度の教育課程について、として、校長会でも、右のような方針を示していました。右の方針以外でも、イベント事業の検討や、教育課程に位置付ける

ことのできる行事の活動については、授業時数に積極的にカウント可能であるとするとしています。

来年度の教育課程に向けて、昨年度末の方針を踏まえたうえで、

①市全体でも各学校でも検討委員会を設けて業務削減、負担軽減を取り組む。

②市教委のイベント事業の見直し削減と各学校の個別・具体的な教育活動に一律の取り組みを求めることを改め、学校の教育課程編成権、自主性を尊重する

③負担軽減の点から、研修、研究授業、研究発表、研究協議の見直し、評価や通知表の見直しを行う

などに取り組みすることが不可欠です。

4月から中学校でも本格実

#### 昨年度末提示の市教委方針から

- ①土曜授業は小学校は年1回以上、中学校は学校裁量で実施し、土曜参観なら代休が措置できる。
- ②小学校の5時間授業日の6時間授業実施を年10回とする、
- ③水泳指導教室は各学校ごとのプール開放に変更する

#### 三重県での介護助手の活用による効果

- ・周辺業務の負担が軽減され、ケアの質が向上した
- ・利用者へ関わる時間が増え、リスク軽減につながっている
- ・介護助手1人の雇用で、直接介護に関わる時間が1日当たり190分増えた
- ・残業が減った
- ・時間的にも精神的にも余裕ができた

が大きく減少し、うつ病の発症もなくなり、有給取得も可能になるうえ、職員が専門性を生かした充実感を持てる働き方に変わってきたとされています。

総合共済・今年も加入目標(1700人)を突破！  
助け合いの基本となる総合共済の府下の加入者が、今年度も目標の1700人を突破しました。まだの方はぜひ加入を。

- ①総合共済 月600円
- ②教職員賠償共済月1100円
- ③くらしの賠償共済月1400円

②は、仕事にかかわる賠償に  
対して、③は学校外の日常生活  
での賠償について、弁護士対応、  
初期対応への保障など、これほ  
ど安い掛け金で、安心の保障や  
対応です。組合HPを参照！

施になる学習指導要領は、限界を超える学習内容の多さ、盛りだくさんな高度な教育課題など、従来の学校の在り方を大きく変更しなければ対応不可能な内容です。

そのために文科省も5年前から「働き方改革」業務の大胆な見直しを推進して、現場の「カリキュラムマネジメント」をとりわけ強調してきました。

これに見合う、枚方での市教委の取り組みが不可欠です。

#### 介護現場で効果を上げる「働き方改革」に学ぶ

介護現場では、長時間勤務が常態化し、高かった離職率、うつ病発症率が大幅に減少しています。

三重県では、介護助手を積極的に雇用し、本来の介護業務以外を担ってもらうことで、残業がなくなり、離職率

まなび庵 どなたでも参加できます！

## 「使ってみようタブレット」

—使って役にたつ、子どものために生かせる ICT 活用—

2月18日(木)19:00~20:00

公式LINEアカウントより、ZOOMでします



開始30分前にzoomへの招待を公式アカウントで流します。まなび庵終了後には、動画も貼り付けます。好きな時間に何度でも観れますので、ご利用ください。

#### 内容「算数授業でのロイノート活用法」

算数の授業でロイノートを活用した実践の紹介です。ロイノを使えば、教科書を取り込み必要箇所だけを見せたり、個に応じたヒントの提示なども簡単にできます。18日は、ロイノート活用法の動画を見終わった後に質疑応答の時間をとります。その他、みなさんからの職場の様子も交流しながら、子どものために生かせるICTの活用の仕方を話し合いたいと思います。気軽に悩み不安も交流しましょう。

参加費 無料



全教・枚方教職員組合 青年部 (Tel. 848-3300)